

★ まちのわだい ★

バラが贈呈されました

6月11日、役場と町内小学校児童に氷川町バラ生産者の宮村和正さん（北川）、桑原一浩さん（下宮）、内田渡さん（下宮）よりバラが贈呈されました。

これは、父の日に合わせ毎年行われているもので、今年は計750本のバラが贈呈されました。

宮原小学校で行われた贈呈式では、生産者の内田さんが「大切な人にプレゼントしてください。」と手渡されると、児童代表からは、「家に飾って、大切にします。」とお礼の言葉を述べ、受け取りました。



▲生産者の内田さん、宮村さん、藤本町長、桑原さん（左から）



▲宮原小学校



▲竜北西部小学校



▲竜北東小学校

耕作放棄地に大豆の種をまきました ～氷川町子ども会～

6月5日、氷川町の耕作放棄地約15アールに子ども会の子もたちが大豆と枝豆の種をまきました。この取り組みは、県の「子どもたちによる耕作放棄地再生モデル事業」の助成を受け、大豆を植え、収穫することで農業や食物の大切さを体験するものです。この日は、約40名の子もや保護者の参加があり、八代農業高校農業土木科の生徒30名と先生方に指導を受けながら、作業を行いました。

【今後の予定】

8月…枝豆の収穫、ずんだ餅づくり

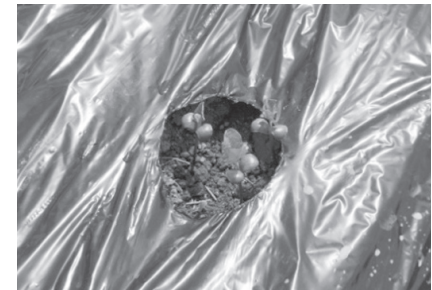
10月…大豆の収穫、豆腐づくり、石の碾き臼で黄な粉づくり



▲元気に育ちますように！



▲日差しが強い中がんばりました



▲6月10日芽がでました！！

第5回氷川町早起きソフトボール大会 竜北クラブAが初優勝!!

第5回氷川町早起きソフトボール大会が5月25日から28日までの4日間、竜北グラウンドで開催されました。

この大会は、氷川町ソフトボール協会が町民の健康増進と親睦を深めることを目的に開催したもので、町内から6チーム80名の選手が参加し、熱戦が繰り広げられ、珍プレー、好プレーでグラウンドを沸かせました。

決勝は、予選リーグを勝ち進んだ、竜北クラブAと有佐レッズが対戦し、竜北クラブAが6対2で勝利し、見事初優勝を果たしました。決勝戦にふさわしい緊迫した好ゲームでした。



▲優勝の竜北クラブAチームのみなさん

町民文芸

短歌

蘭草田に杭打つ音響きたり
日々に伸びゆく青あお茂る

上高塚 桑原ゆき代

剪定を受けて散りにしさつき花
卓に飾られ生命吹きけり

吉本 高橋 澄子

六月の雨はやさし紫陽花に降りて
なほも鮮む七変化

西野津 古崎 栄子

時刻む孫の成長指折りて
夫婦荷車互を杖に

南鹿野 尾崎 京子

葉桜の影に翹えば日影の
忙しき事を暫し忘るる

西野津 古崎スエノ

初対面なれども覚ゆ懐かしさ
前世は深き有縁の人か

吉本 橋村 正之

牛一頭あらわされてくる気配する
しろつめ草の咲く道つづく

新村 濱田たみよ

同期会男女傘寿で丸出し
笑ひ散寿のさざめき止まず

町 福田 一郎

前庭に四季おりおりの花が咲き
花と共にてかたる楽しさ

早尾 橋本ヨシエ

もがけども遠のくばかり拉致の国
決断なくば未来は見えず

桜ヶ丘 宮崎敬四郎

台所ガラス戸向ふにユクリ生り
晩酌毎に熟れるを待ちぬ

下高塚 竹中 力

わが狭庭青葉若葉に満ち溢れ
柘榴の花が朱にかがよう

東上宮 橋本万寿美

俳句

よりそいて月光の庭花あやめ

上高塚 桑原ゆき代

夏の夜の窓に写りし月明かり

吉本 高橋 澄子

下校の子上着ふり降り帰り行く

西野津 古崎 栄子

御手植の若葉茂れと五月雨

南鹿野 尾崎 京子

山頭火歩いた町に若葉風

西野津 古崎スエノ

水門の大きく開きて初夏の海

町 香山菊童子

変化花八十路色どる宴の座

町 福田 一郎

今生の刻を待たずや夕薄暮

桜ヶ丘 宮崎敬四郎

セーラ服身丈に添いし更衣

桜ヶ丘 吉田 照子

初蛸迷ひ入りけり薄明り

町 田中 澄子

湯の宿に花栗匂ふいずこより

桜ヶ丘 宮崎トシ子

梅若葉五十枚こえて伸び

下高塚 竹中 力

松五郎慕情

吉本 橋村 正之

小倉名代のあばれ者
誰呼ぶとなく無法松
紺の腹掛け饅頭笠
握る梶棒松五郎

吉岡夫人と出会いより
大きく変わる此の男
大尉亡き後残されし
母子支える勇み肌

祇園まつりの山車の上
ばち借り受けた松五郎
秘めた面影払うよに
叩く太鼓は乱れ打ち

言つてはならぬその言葉
口に仕掛けた己をば
恥じてそれより吉岡の
門をくぐらぬ潔さ

遺品で初めて知らされた
男の深い愛情に
位牌の前でその名呼び
涙に暮れる未亡人